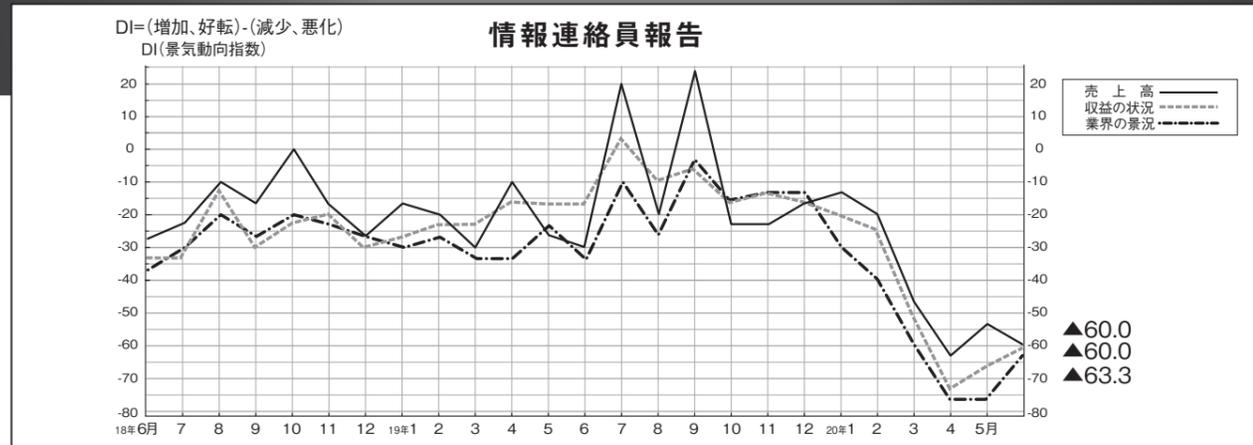


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2020年6月 (前年同月比)



業界の状況 | ☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☁️...やや悪化 ☔️...悪化

<p>食品団地</p> <p>6月度も引き続き、コロナウイルスによる悪環境。県内飲食店向け、旅館ホテル向け食材は低調。物販もスーパーは別にして、観光関連商品も低調のまま、今後の経営悪化が心配。</p>	<p>生コンクリート製造</p> <p>需要に地域的偏在がある。天候に左右される業種のため、この時期は納入予定が狂うことも多い。</p>
<p>酒類製造</p> <p>4・5月と比較し、県外出荷、飲食店向けはやや回復基調にあるが、コロナ禍以前の状況とまでには予測不能の状況。宴会、イベント、会合の自粛、観光客の減少による土産品の減少等大幅な売上減となる。</p>	<p>コンクリート製品</p> <p>出荷数量は、前年同月比121%。前年5月分の出荷から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増加し、6月分も継続している。</p>
<p>テントシート</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策による、各種イベントの中止、延期等により全体的に売上減少となっている。特にイベント関連主力の事業所は大変な状況。現在の状況はまだ続くと思われる。</p>	<p>機械団地</p> <p>新型コロナウイルス感染症関連では、一部に取引先の生産縮小による受注減や営業活動の自粛を余儀なくされるなど、徐々に業況に影響が出はじめている。団地内の景況は横ばいから下降傾向にシフトか？</p>
<p>木製品素材生産</p> <p>材価の下落、受け入れ量の縮小等により少なからず影響が出始めた状況である。木材価格の下落が1~2割、生産数量は1割程度ダウンしている。製材所等の受け入れが2割程度減。</p>	<p>刃物製造</p> <p>イベント等小売業の得意先の受注は若干減少しているが、他の関係は変化は少ない。4月・5月の土・日曜は小売の方は閉店していたが、6月は昨年以上の売上となった。イベント等がなく、小売・行商の得意先がどうなるか心配。</p>
<p>製材</p> <p>コロナウイルス、梅雨の影響のうえに、需要の停滞で全般に低調である。この状態はしばらく続きそう。</p>	<p>船舶製造</p> <p>海外営業活動の停滞はあるものの、生産活動は高い水準で推移している。</p>
<p>製紙(家庭紙)</p> <p>県内家庭紙メーカーは、5月連休明け頃から注引量が減少。6月は、各社軒並み売上げが落ち込む。予想していた事ではあるが、厳しい状況となる。</p>	<p>珊瑚装飾品製造</p> <p>新型コロナウイルスの影響は依然として大きく、6月の製品会取引額は前年同月比42%となった。</p>
<p>印刷</p> <p>官公需は減。県内民需も先月に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で減。県外需要はイベントがらみが最悪で激減。6月も大幅に前年を下回った。</p>	<p>卸団地</p> <p>1. 高知県下の外食、観光は自粛解除のあとも、多くの店舗が大きく売上げを落としている。2. 一番の問題は、先が見えないこと。再び自粛があるかもという不安でモチベーションが上がらない。</p>

<p>青果卸売</p> <p>ライフスタイルの変化の為に、スーパー、ドラッグ等の売上は好調。給食再開の為に一部業務は売上げが上がってきたが、飲食店・ホテル・冠婚葬祭・娯楽施設・街路市等まだまだ大変な業種が多く、全体としての売上が回復するのはまだ先のこと。</p>	<p>商店街(四万十市)</p> <p>夏のイベント等すべて中止で人の流れが商店街に向かって来ていない。6商店街連合会で「コロナ対策プレミアム商品券」を計画中。</p>
<p>生鮮魚介卸売</p> <p>カツオ、マグロ、小物等は全般的に順調に入荷されている。閉めていた店が再開しはじめた。需要が少なく売上げが元に戻っていない。</p>	<p>旅館・ホテル</p> <p>先月と比較すると、仕事での長期滞在等多少好転している施設もあるが、(予約が入らなかつたり、イベントが中止となるなど)まだまだ先の見通しが立たない。</p>
<p>各種小売(土佐市)</p> <p>コロナが少し落ち着いたようには見えるが、元に戻るには厳しい状況。どれくらい長期戦になるのか、不安が大きい。</p>	<p>飲食店</p> <p>中食メインの店舗や麺類店等はコロナ禍以前の売上げに戻りつつあるのだが、居酒屋や繁華街の料理店等は集客が依然として少なく、格差が大きくなってきた。</p>
<p>ガソリンスタンド</p> <p>OPECは減産で需要調整を図り、原油価格を元に戻そうとしている。市況では販売価格は上昇だが売上数量は少しずつ戻りつつあるものの、まだ時間が必要。コロナウイルスが終息したわけではなく第二波、第三波と来るかもしれないことへの不安は募る。</p>	<p>旅行業</p> <p>組合、全旅クーポン売り上げ、前年同月対比0.03%。高知県の助成による日帰りモニターツアーの催行が増加する見通しだが、クーポン売り上げにはつながらない見通し。</p>
<p>電気機械器具小売</p> <p>6月は全商品平均で前年比108%。エアコン115%、テレビ106%、冷蔵庫102%、クリーナー98%。訪問活動ができない。</p>	<p>一般土木建築工事</p> <p>令和2年6月分の公共土木用生コン出荷量は、前年同月比96.6%。公共工事請負金額は前年同月比で110.1%。防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事は継続している。新型コロナウイルスの影響は現在のところは少ない。</p>
<p>中古自動車小売</p> <p>先月同様、オークション市場の流通量減少や相場の不安定により仕入が思うようにできず、展示車両や注文車両が確保できない。販売店により異なるが、来場者、問い合わせ等の減少により販売に繋がらない状況。</p>	<p>電気工事</p> <p>組合員の施工する電力引き込み線の工事量は、前年同月比163.6%となった。高知中央地区が大幅に増加(178.9%)した。</p>
<p>商店街(安芸市)</p> <p>コロナによる外出自粛が解除され1ヶ月が経つが、以前のような客数までには回復していない。需要が減り、来店客が減少している。</p>	<p>一般貨物自動車運送</p> <p>6月に入り値下がりしていた燃料価格が値上げに転じた。コロナの影響はまだ続いており、物量は回復していない状況で厳しい経営が続いている。</p>
<p>商店街(高知市)</p> <p>中央公園地下駐車場利用状況、売上:前年比73.1% 台数:80.5%。通行量調査では、前年比で平日が71%、休日が61%と徐々に回復しつつあり、中止となった「土曜夜市」の代替イベントとして、7/25・8/1・8/8に「おまちdeプチ夏祭り」を開催予定。</p>	<p>タクシー</p> <p>実働1日1車当りの前年同月比営業収入:66.1%、輸送回数:69.4%。実働率は39.1%。新型コロナウイルスの影響は、各社により異なる。実働率が低く、増収にはならないが、週末の客足が増えてきたとも云っているものの、やはり不安は大きい。</p>

挑戦の数だけ、 保険がある。

To Be a Good Company

東京海上日動

